

「授業づくり研究会」開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

季節の動きが速く、11月に入り一挙に寒くなりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回の授業づくり研究会の準備が整いましたのでご案内いたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。参加を希望される方は、安永研究室のホームページから申込をお願いします。むろん、これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆さまとお目にかかれることを楽しみにしています。研究会の後、懇親会を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加を希望される方は期日までに連絡をお願いします。

記

1. 日時：2016年12月10日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 学生会館ミーティング＝ルーム3
<http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html>
3. 参加資格：協同教育(学習)に関心のある方
4. 参加申込：安永研究室のHP (<http://yasunaga.me/wiki.cgi>) からお願いします。
(注意) HPからの申込に対しては自動返信になっています。
返信が届かなかった場合は下記「問い合わせ先」までご連絡ください。
5. 研究会の内容
 - (1) 挨拶・導入 (担当：安永 悟) 25分 (13:00-13:25)
 - (2) 「LTD基盤型授業モデルの提案」 40分 (13:25-14:05)
 - a. 講師：安永 悟 (久留米大学)
 - b. 内容：いわゆるアクティブラーニング (AL) の成果を高める為には、特定の学習技法や学習方略を単独で使うだけでは難しい。学習者の変化成長を手がかりに、適切な技法や方略を組み合わせ、体系的かつ重層的に活用する必要がある。筆者はこれまで、協同学習の一技法であるLTD話し合い学習法を中核に据えた授業づくりを展開してきたが、今回は、その中で編み出されたLTD基盤

型授業モデルを紹介し、本授業モデルの可能性と今後の展開について所見を述べ、引き続き行われる2つの報告の導入とする。

(休憩 15分)

(3) 「LTDを活用したライティング指導の実際」 60分 (14:20-15:20)
：看護学生を対象としたエッセイ作成」

- a. 講師 : 須藤 文 (久留米大学)
- b. 内容 : 本来「文章読解」における理想的な学習法であるLTDを「読解」のみならず「ディベート」「ライティング」へと重層的に活用した授業モデルを提案し、授業実践・改善を続けてきた。このLTDを重層的に活用したライティング指導の実践例として、看護学生を対象としたエッセイ作成指導が挙げられる。毎年、10点程度を「エッセイコンテスト」に投稿し、毎年1・2点が入選するという実績をあげている。しかしながら、これまで、ライティング指導の実際については、詳細に述べてきていない。本報告では、ライティング指導の実際を詳しく紹介する

(休憩 15分)

(3) 「LTD based PBL (LTDに基づく問題基盤型学習) の魅力」 80分 (15:35-16:55)

- a. 講師 : 長田敬五 (日本歯科大学)
- b. 内容 : PBL (問題基盤型学習) テュートリアルは、学習者が仲間との討論やグループダイナミクスを通して自ら問題を発見・抽出し、その問題を学習者自身が解決していく学習方略である。この学習活動を通して、学習者の生涯学習スキルの基礎をになう問題発見・解決能力やコミュニケーション能力などが涵養される。長年PBLチュートリアルを実践してきた結果、近年幾つかの本質的な問題点 (学習者の自主性依存、知識の定着不足、達成感不足等) も露呈してきた。これらの問題点の対応策としてLTD based PBL (LTD基盤型PBL) を考案し、実践した。LTD based PBLでは学生同士の互惠関係の強化により、また既存の知識・経験との連結・統合や学習成果発表による知識の定着などにより学習者の極めて高い活動性が実現される。今回はLTD based PBLの魅力的な有効性について報告したい。

(4) 事務連絡・閉会 5分 (16:55-17:00)

6. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、下記の要領で懇親会を開催します。参加希望者は上記「4. 参加申込」と合わせて12月5日（月）までに、安永研究室のHPから申し込んでください。

場所： 櫛 （久留米大学学食・会場と同じ建物内）

時間： 17時30分～19時30分

会費： 4,000円程度

（注意）直前の取り消しには応じかねます。参加されなくても参加費を徴収することがありますので、予めご了承ください。

7. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、次までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上